

あなたに届ける議会のホットニュース

議会だより

URESHINO

うれしの

No.47

平成29年10月27日発行

9月議会の
ニュースのとびら



▲大野原小・中学校運動会でのソーラン踊り

平成28年度の 決算

一般会計及び特別会計の決算で使途や効果など徹底審議

P2
~5

補正予算審議

ふるさと応援寄附金で7億円を補正

P6
~7

議案の賛否 どうなった

それぞれの議案に対する議員の賛否表

P9

議員とかたろう会 の報告

対話集会での意見に対する執行部の回答

P10

活発な一般質問

16名の議員がいろいろな政策を提言

P12
~22

中学生の声

市内中学生の「夢や思い」をシリーズで掲載

P24

議員さん募集!

来年1月の市議会議員選挙への立候補を

P24

発行 = 嬉野市議会 編集 = 議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887



を認定

▲地方創生加速化交付金で開催された忍者イベント

一般会計 実質単年度収支で 9億6876万円の黒字決算

平成29年第3回定例会は9月1日に招集され、10月3日まで33日間の日程で開催された。本定例会の提出議案は報告3件と条例の一部改正1件、建設工事請負変更契約の締結1件、平成29年度補正予算6件、平成28年度決算認定10件、諮問3件の併せて21件の議案が提案された。9月19日、決算認定10件を除く11件の議案を可決した。9月25日に決算特別委員会を設置し平成28年度一

般会計、特別会計、水道事業会計など10件の決算認定について慎重審議を行った。9月21日、条例1件が提案され、9月29日、平成29年度補正予算の追加議案1件が上程された。10月3日、意見書3件の発議と併せ、賛成多数により可決し、第3回定例会が閉会した。(賛否表は9P)

今議会、一般質問は16名の議員が3日間にわたり市政全般について、執行部へ鋭く質問を行った。

平成28年度一般会計決算状況は、歳入総額16億2723万円(前年度比7・3%、11億5193万円増)。自主財源比率は42・1%(前年度比18・6%、11億1851万円)と増加し、依存財源比率は57・9%に減少している。理由として、ふるさと応援寄附金

が好調なことも含め、市債の減少が主要因である。歳出総額は163億5111万円(前年度比7・1%で10億7700万円増)。増加の要因として、ふるさと応援寄附金支援業務等の総務費や農林水産業費、合併特別償還金等の公債費など

が増加のおもな要因となった。実質単年度収支は9億6876万円の黒字決算となった。

国民健康保険特別会計は実質収支2億4601万円の歳入不足が生じ、昨年同様に翌年度繰上充用で対応している。後期高齢者医療特別会計は水道事業会計は損益勘定で4156万円の黒字だが、資本勘定においては損失が生じ、消費税収支調整額と過年度分損益留保資金で補填された。

主な財政指標

区分	平成28年度	平成27年度
財政力指数	0.389	0.388
実質収支比率	6.9%	5.8%
経常収支比率	79.6%	86.4%
実質公債費率	7.7%	7.7%
将来負担比率	70.7%	78.4%

自主財源、依存財源とは

自主財源とは、自治体が自らの権限で収入しうる財源で、中心となるのは地方税(市税)であるが、その他、条例や規則で徴収できる使用料や手数料、繰入金などであるが、近年は、ふるさと応援寄附金も貴重な財源となっており、その比率が高いほど健全な財政状況といえる。

一方の**依存財源**とは、他に依存する歳入のことで、主に地方交付税などの国庫支出金(補助金)や県支出金(補助金)であるが、事業を行うときの市債(借金)も依存財源である。

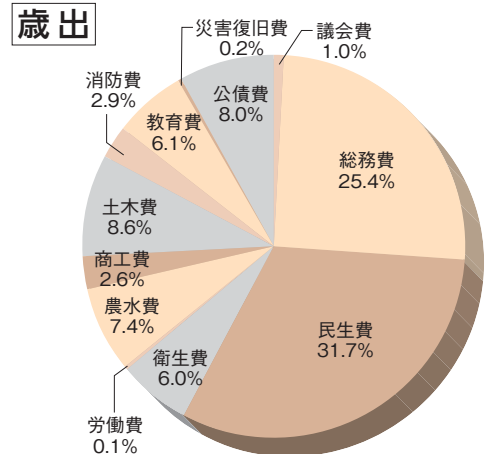
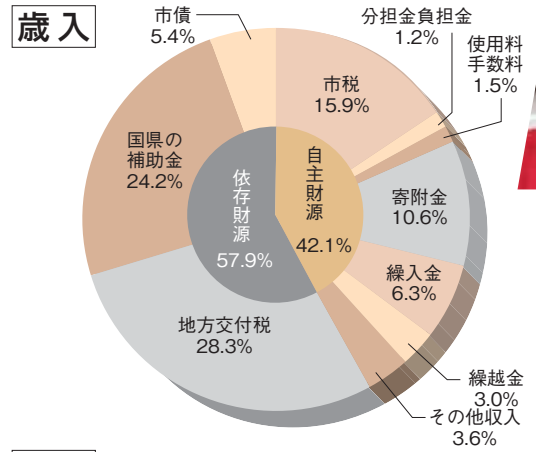
平成28年度 一般特別水道事業 会計決算

各決算の状況

(単位 万円)

会計名	総収入	総支出	差引額	
一般会計	169億2723万円	163億5111万円	5億7612万円	
特別会計	国民健康保険	43億7675万円	46億2277万円	▲2億4601万円
	後期高齢者	3億2829万円	3億2732万円	96万円
	農業集落排水	3億4645万円	3億3670万円	975万円
	公共下水道	3億4372万円	3億3456万円	916万円
	浄化槽	8532万円	8266万円	265万円
	第七土地区画	1億3309万円	1億3238万円	71万円
	第八土地区画	1億3265万円	1億2123万円	1141万円
	嬉野温泉駅周辺	6億4695万円	6億2510万円	2184万円
水道企業会計	収益的収支 (税抜き)	水道料金他 6億613万円	経費支出 5億6457万円	残高 4156万円
	資本的収支	補助金他	工事費償還金他	留保資金より補填
		2億5459万円	4億1015万円	1億5556万円

一般会計の状況



一般会計と特別会計の違い

一般会計とは市税や地方交付税等を主な財源として、人件費、扶助費等の基本的な経費を組み入れて計上した会計で市の予算の中心となる。

特別会計とは、国保のように、特定の人たちがお互いに助け合うことを目的とした事業や、農業集落排水事業のように、利益を受ける人たちが負担するお金を中心に運営される事業。他に公共下水道や浄化槽、第7・第8土地区画、嬉野温泉駅周辺土地区画等がある。

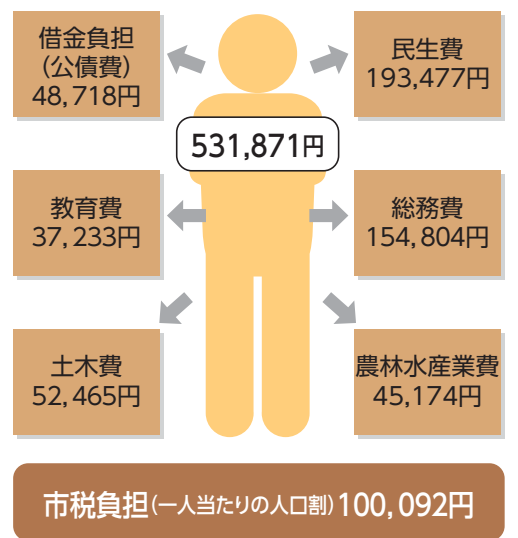
収益的・資本的収支とは

水道事業会計は、民間会社と同様で、水道事業の経営活動で発生する料金収入などの収益(収入)と、それに対する製造経費、人件費や固定資産の減価償却などの費用(支出)が計上される。

資本的収支とは

水道事業会計において、経営規模の拡大に係る資産の取得に要する経費や企業債の元金償還金などの支出と、一般会計補助金や企業債などの収入が計上される。

歳出を市民(26,796人)一人当りにすると 平成29年3月末現在





▲市税徴収に努力する税務収納課

貯金はこれだけ

基金の内訳		
貯金の項目		平成28年度末
動産	肉用繁殖牛導入事業基金	583万円
	印紙類購入基金	170万円
現金	財政調整基金	18億3004万円
	減債基金	11億1979万円
	地域づくり推進事業基金	4億1549万円
	ふるさと応援寄附金基金	15万円
	地域福祉基金	4億6405万円
	ふるさと水と土保全対策基金	2041万円
	公共施設建設基金	2億3851万円
	学校建設基金	59万円
	奨学資金積立金	5919万円
	人づくり振興基金	5000万円
	下水道事業基金	1億3790万円
	土地開発基金	1億93万円
	高額療養費資金貸付基金	750万円
	肉用繁殖牛導入事業基金	2143万円
	印紙類購入基金	29万円
	合併振興基金ほか	13億8498万円
	教育環境支援基金	7万円
合計	58億5137万円	

借金はこれだけ

単位万円

地方債（借入金）の内訳		
借入金の項目		平成28年度末
総務関係の借入金	5億7450万円	
減税関係の借入金	1億372万円	
土木建設・公営住宅の借入金	4億8097万円	
防災関係の借入金	5554万円	
教育関係の借入金	3億4783万円	
災害復旧債	2096万円	
その他	6億690万円	
①臨時財政対策債	50億7356万円	
②合併特例債	52億5371万円	
③ほか	1億6832万円	
合計	126億8605万円	

市税徴収率は、前年度より微増した。市税全体の収納額は、26億8205万円（前年比4129万円増）で徴収率は85.9%と前年度より3.2ポイント増加。このうち現年課税分の徴収率は98.2%と0.6ポイントの増加。滞納繰越分の収納額は、3938万円で徴収率は9.1%で前年度より3.4ポイントの減少。また、税目ごとの徴収率は、いずれも前年度より向上している。市税の収入未済額は、3億8229万円で、そのうち固定資産税分が85.3%、市民税分は12.8%合計98.1%とほぼ全体を占めている状況である。また、市税の不納欠損額は5752万円で固定資産税分が89.2%、市民税分は9.5%合計98.7%とこちらもほぼ市税の全体を占めている。今後の課題としては、滞納繰越となつてからの徴収が難しくなるので、現年課税分の徴収率を向上させることが重要である。

市税徴収率 前年より微増

市税の徴収状況（現年課税分）

	収入予定額	収入額	徴収率	前年度徴収率
市民税	10億3553万円	10億2029万円	98.5%	98.5%
固定資産税	12億764万円	11億7812万円	97.6%	96.2%
軽自動車税	9635万円	9297万円	96.5%	97.1%
たばこ税	2億7726万円	2億7726万円	100.0%	100.0%
入湯税	7457万円	7400万円	99.2%	99.8%
計	26億9136万円	26億4266万円	98.2%	97.6%

予算流用は慎重に

議会から改善を指摘

決算審査は、議長と議会選出監査委員を除く16名の議員で、平成28年度決算特別委員会を設置し、平成28年度嬉野市一般会計や特別会計（8件）、水道事業会計の合計10件の審査を行った。委員会では、所管する担当課の説明を受け、事業の成果や課題、今後の取り組み等の審査を行い、また、現地調査も必要に心じて行った。

一般会計の歳入は、ふるさと応援寄附金の増加や市税の増加が見られるものの、地方交付税や国庫支出金等の依存財源に頼らざるを得ない状況には変わりなく、厳しい財政運営といえる。

一方、歳出では不用額が3億円余り出ており、減額補正が可能であれば財源の有効活用を求めらる。

また、今回も各課において予算流用の案件が確認された。行政事務の円滑遂行には仕方がないが可能な限り補正予算への計上を行い、議会の議決後の予算執行を強く求める。

指摘事項の主なもの

決算審査報告書から抜粋

【総務課】

☆職員健康診断のストレスチェックは、健康管理上重要な事業なのでしっかり取り組んでもらいたい。

【財政課】

☆駐車場改修工事請負費の中から高速インター駐車場整備費が支出されている。補正で対処すべきである。

【うれしの温泉観光課】

☆観光情報の一元化は重要な施策であり、さらなる内容の充実を求める。

【税務収納課】

☆徴収努力は認めるが、さらなる収納率向上のためには担当職員を増やすべきである。

【企画政策課】

☆地域公共交通のあり方は、人口減少を踏まえ総合的な交通体系を早急に検討すべきである。

【健康づくり課】

☆国保運営が平成30年度から広域化されるが、健全運営のためにもさらなる徴収率の向上を望む。

☆各種検診の受診率は低迷している。受診率向上のために、先進地の事例を参考しながら努力されたい。

【福祉課】

☆民生委員活動は仕事量の多さが課題であり、各種公式行事参加の見直しで負担軽減をはかるべきである。

☆社会福祉協議会の事業は増加傾向なので、整理や検討が必要である。

【子育て支援課】

☆一時預かり事業は、塩田地区と嬉野地区で運営方法が異なっている。事業の精査も含め再検討が必要。

☆「子供の幸せを考えるためのアンケート調査」で生活困難世帯の現状把握ができていますが、これを今後の施策に生かすべきである。

【教育委員会】

☆奨学金貸与事業で償還金返納未済額が発生している。会計処理方法や機関保証制度の活用も今後の検討課題である。

☆英検の受験料補助が中学3年間で1回のみである。小学校での英語教育が本格化する中で、受験回数の増加が必要ではないか。

【文化・スポーツ振興課】

☆助成事業を利用したイベント等の開催で、社会文化会館の有効活用を図るべきである。

☆高齢者教室は、時代のニーズに合うような内容や仕組みを工夫して見直しを求める。

【建設・新幹線課】

☆市内の公衆トイレの水洗化を含め更新していく計画が必要である。

☆市営住宅の老朽化が進んでおり、全体的な計画を早急に立てる必要がある。住宅使用料の収入未済についても会計処理の方法を含め今後の検討課題である。

【環境下水道課】

☆農業集落排水事業の収入未済の徴収には、さらなる努力を望む。下水道使用料金の統一に向けて、会計処理方法等も含む検討を早急に取り組む必要がある。

【水道課】

☆水道料金徴収のさらなる努力を望む。料金滞納常習者には、閉栓処理の厳格化を含め検討すべきである。

【うれしの茶振興課】

☆うれしの茶海外販路開拓戦略策定事業は、輸出に向けた防除暦が作成されているので、今後は他生産者の協力も求め事業の進展に向けて努力を求める。



▲既に実施されている小学校の子ども学校塾

8億5308万円を補正

中学生

一般会計総額155億8395万円に

の放課後学校塾を実施

中学生のための放課後学校塾事業として

323万円

問 現在、放課後等補充学習支援授業が実施されているが。

答 週に1回2時間実施しているが、この事業でさらに週4日間実施することができるとのこと。

問 財源はどうか。

答 国の「子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業」の補助金を活用し、各中学校の希望する3年生に、高校進学に向けた補充学習を行うことができる。

問 いつから始めるか。

答 11月から来年2月までの4カ月間を予定している。

問 次年度も継続してこの事業を実施するのか。

答 国の事業は、今年度限りであるが、今年度の

効果を見て検討したい。

保育所

整備事業に

807万円

問 どの保育園が対象なのか。

答 岩屋保育園の園舎が老朽化して、建て替えの時期にきている。

問 これからの予定はどうか。

答 今年度は実施設計と

仮設園舎の建設を行い、次年度に新しく園舎を建設する計画である。

問 今年度は、嬉野幼稚園園舎の建設が実施されているが、今後も園舎建て替えの要望は出ているのか。

答 築40年位が建て替えの時期で、この後も久間子守保育園や下宿保育園、塩田ルンビニ保育園と園舎の建て替え計画の予定がある。



▲改築される岩屋保育園



▲全国各地で活躍する地域おこし協力隊

地域おこし

協力隊確保に

201万円

問 この事業の目的は。
答 新幹線開業に向けた嬉野のまちづくりや資源の磨き上げを地域と共に行う若い人材の確保や移住を期待している。

問 具体的な事業の内容は。
答 都市部から地域おこし協力隊1名を募集し、まちづくりに関する企画立案及び実施などの活動や地域資源に関する情報発信を行うってもらう。

また、民間のまちづくり会社「株式会社嬉野創生機構」と連携して、官民一体となった活動を担ってもらう。

問 地域おこし協力隊員の確保はできるのか。
答 佐賀県と一緒に頑張って確保につなげたい。

**ふるさと
応援寄附金に
7億円**

問 今回も多くの寄附金が寄せられているのか。
答 4月に、国が返礼品の割合の見直しを求める

発表をしたので、5月から駆け込みによる寄附金が大きく増えて、昨年並みの17億円近くなっている。

問 嬉野市は、返礼品の割合の見直しはどうするのか。
答 今年度も地元業者と協力してやっていく計画をたてていたので、年度途中の見直しは考えていない。

問 来年度からは見直す考えか。
答 ふるさと応援寄附金は貴重な財源なので、慎重に検討する。

伝統的建築物群 保存対策事業として

1850万円

問 伝建地区のどこを保存修理するのか。
答 コンクリート製荷揚げ台が劣化して崩落の危険性があるので、今回改修工事を行う。

問 荷揚げ場の再現ができないのか。
答 現状の修復がこの事業の目的となっているので勝手にはできない。

問 観光に役立つような説明や案内板などの設置はできないのか。
答 検討してみたい。

問 これからの整備計画の予定は。
答 国の補助事業でもあるので予算確保に努め、地元の保存会の皆さんの意向を聞きながら整備を進めていきたい。

衆議院議員総選挙及び最高裁 判所裁判官国民審査費用に

1537万円

問 追加議案の補正予算になった理由は。
答 突然の衆議院の解散で急ぎよ計上された。

問 今回の選挙費用の財源はどこから出るのか。
答 佐賀県の支出金として1350万円、残り87万円が支出される。

問 選挙費用の内訳は。職員の選挙事務専従者の時間外手当に870万円、投票管理者・投票立会人・開票管理者・開票立会人の報酬に175万円、入場券発送料・電話代・チラシの新聞折り込み代・選挙機器点検料等に145万円、選挙事務臨時職員6名分の賃金93万円、ポスター掲示板設置・撤去費用に99万円、事務用品・入場券印刷代・弁当代等に75万円、投票用紙計数機1台と投票用紙自動交付機1台の購入費に62万円とその他費用となっている。

その他の補正予算

項目	金額
急傾斜地崩壊対策事業（庵の山地区）	100万円
九州新幹線西九州ルート建設事業	5,500万円
通級指導教室整備事業（塩田中学校）	124万円
公共下水道事業	135万円
消防団員確保対策事業	30万円
地域防災力向上促進事業	40万円
保育士等の処遇改善導入対策事業	86万円

1件の請願2件の陳情 国に意見書を提出



▲学校での音楽授業風景（吉田小）

請願

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係わる意見書の採択
 請願者 嬉野町大字下宿 杉浦久美子

陳情

工事発注における市内下請け業者選定を求める
 嬉野市 小原健史 福田文夫 他3名
 森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の導入を求める
 全国森林環境税促進議員連盟

9月定例議会に請願1件・陳情3件が提出され、請願は委員会付託をし、慎重な審査の結果、採択し意見書として提出した。その他に議員発議で3件の意見書を提出し慎重な審議をおこない、採択した。

意見書とは

地方公共団体の議会は、地方自治法第99条において、地方公共団体の公益に関わる事柄について議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出できるとされている。法的拘束力はないが、住民代表である議会の総意として尊重される。

地方財政の充実・強化を求める意見書採択を
 自治労佐賀県本部 原口郁哉

教職員定数と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係わる意見書

今日、学校を取り巻く環境は複雑化・困難化しており、学校に求められる役割は拡大し、専門的な知識を持った教員を含む計画的な教職員定数改善が必要である。また、豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成する上で、義務教育水準の維持向上を図ることが重要である。

子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進し、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるために、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、社会状況の急激な変化により、新たな施策課題に直面している。このような中、地方財政の確立を目指すことが必要である。社会保障予算の確保、国税から地方税への財源移譲、地方財政計画に計上されている財源においては、臨時・一時的な財源から恒久的財源への転換を図ること、同時に地方交付税の確保については、臨時財政対策債等の特例借置に過度に依存しないものとし、対象国税4税の法定率の引き上げを行うことなどを求める。

全国森林環境税の導入

我が国の地球温暖化対策について、森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組の活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を求める。

工事請負変更契約を可決



▲来年4月のオープンに向けて建設中のうれしの茶交流館

議員提案による条例を提出

今議会に条例改正1件、建設工事請負変更契約の承認1件、議員提案による議員報酬支給条例の特例を全会一致で可決した。

今回の条例は、議員提案による、長期欠席に対する議員報酬の減額を定めるものです。県下10市の足並みをそろえ制定することになっていきます。

(制定済みの市もあり)。すでに制定している嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁

償支給条例に、特例として追加制定する形式をとっています。

- 長期欠席届書・復帰届書の提出の義務
- 欠席期間により2割、3割、5割の報酬減額
- 本会議、委員会、議員派遣等の長期欠席



▲全員出席で執行部と審議する委員会

問 契約変更が説明だけで、資料もなく不親切だ。改めて、資料と詳細説明を求める。

答 工事の一部変更により工事金額を691万円増の2億2250万円にするものである。杭工事において、転石が見つかりその除去工事が必要となった。

また、建物本体の基礎を掘削中に裏山からの湧水が発見され暗渠排水工事を追加した。さらに収蔵庫の棚を木製の作り付け収蔵棚に変更した。

議案の賛否 どう判断

賛否表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
			生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要
議案第55号	平成28年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	平成28年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	平成28年度嬉野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	平成28年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成28年度嬉野市浄化槽特別会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	平成28年度嬉野市水道事業会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	平成29年度 嬉野市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の特例に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

私たちのお願いどうなった

議員とかたろう会の要望にお答えします

今回で17回目になる「議員とかたろう会」を平成29年7月24日から28日までの4日間で開催しました。

「議員とかたろう会」において市民の皆様より要望があった意見を、議員間で集約し執行部に対し、申し入れを行いました。その回答の一部を紹介します。

轟コミュニティの駐車場を何とかできないか

答 轟・大野原コミュニティの駐車場に関しては、近隣の住民の方々が無料借用可能ななどの申し出もあつている。本来の計画では2階建てで大会議室のスペースもあつたが、平屋がよいという皆さんの代表である各行政嘱託委員やコミュニティ事務局の方の要望を反映して平屋となった経緯がある。年1回の総会時や月1回の朝市等は近隣の駐車場を借りることになるが、役員会時は問題なく駐車可能と考えている。

塩田伝建地区にトイレの増設を

答 地区内には空き家が少なく家屋のほとんどは個人住宅であるため、すぐに新設するというのは難しい。また港広場にという意見もあるが、河川敷であるので十分調査し、文化庁との協議も必要になってくる。現段階では、地区内の既存トイレをはじめ、リバテイ、図書館、市役所、保健センター、横トイレなど近隣の既存施設と連携し、利用をお願いしたい。

農業後継者を後押しする施策を

答 集落営農組織の立ち上げについては、国または県の農業再生協議会から組織化に伴う事務経費の補助金が支給されるが、市の担当者や県の出先機関である杵藤農林事務所、藤津農業改良センター及びJAの営農経済課から各担当が集落に出向き営農組織立ち上げの

説明をするなど支援を行っている。

ハザードマップ等豪雨を想定した見直しが必要ではないか

答 近年の局地集中または短時間豪雨が特に激しさを増し、各地で水害が頻発している。これに対応するため平成27年の水防法の改正に伴い、国及び県では想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される地区を洪水浸水想定区域として指定している。嬉野市に関するものは国と県の洪水浸水想定区域指定完了後の平成30年以降にハザードマップ作製を予定している。

防災広場の各校区単位における今後の展開は

答 大きな意味での防災広場とは、住民の避難所、自衛隊や消防などの支援隊の支援拠点、ガレキ集積所、仮設住宅建設

用地なども含まれるが、まず嬉野市では、ガレキの一時集積所を整備するものと考えている。

今後、大草野小学校区以外の校区における防災広場の整備についても、地域の実情や目的に沿ったものとするために様々な面からの検討が必要だろう。

医療費が増大していくなかで予防対応を含め各種実態調査を

答 要介護前の段階から健康増進・維持に努める必要があり、そのために介護予防教室を開催している。今後もより多くの人に参加してもらえよう工夫していきたい。地域共生社会を実現するための仕組みとして「地域包括ケアシステム」の構築が考えられる。高齢者の日常生活を地域住民が自ら支えあう仕組みを作り上げていかねばならない。

新幹線工事による水脈変更で田畑が枯渇している。早急な調査と対応を

答 長谷地区より意見がありました田畑については、議員とかたろう会后、鉄道運輸機構にて現地を確認され、新幹線工事による影響も含め、水文調査が行われている。今後の対応については鉄道運輸機構により長谷地区へ説明が行われる予定である。農林課としては要望地区の行政嘱託員より状況を尋ねたい。



▲開催された議員とかたろう会（鳥越公民館）

16議員が質問

山口 政人 議員
(P12)

芦塚 典子 議員
(P12)

森田 明彦 議員
(P13)

山下 芳郎 議員
(P14)

川内 聖二 議員
(P14)

辻 浩一 議員
(P15)

山口 忠孝 議員
(P16)

宮崎 良平 議員
(P16)

大島 恒典 議員
(P17)

西村 信夫 議員
(P18)

田中 政司 議員
(P18)

田中平一郎 議員
(P19)

梶原 睦也 議員
(P20)

増田 朝子 議員
(P20)

生田 健児 議員
(P21)

山口 要 議員
(P22)

お茶の間に議会を



- ・インターネット中継
- ・有線テレビ

← 次ページは
一般質問

市政を 問うを

9月議会

人権擁護委員の 推薦に同意



嬉野政子さん
(61歳)
嬉野町下吉田



熊谷正之さん
(49歳)
嬉野町下吉田



宮崎和子さん
(63歳)
嬉野町不動山

人権擁護委員とは
人権擁護委員は、人権擁護委員会に基づいて、法務大臣が全国の各市町村に非常勤職として委託した人たちです。

地域の皆さまが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動をおこなったり、住民の皆さんの人権相談を受けるなど活動をされています。



▲重要度が増している防災無線

防

防災無線の対策はどうか

答

聞き取りにくい地域を
少なくする作業をしている

山口政人 議員



山口 屋外スピーカーの防災無線が聞き取

りにくい地域の現状と対策はどうしているか。

市長 市内51箇所に設置しているが、聞き取りにくい地域をできるだけ少なくする作業をしている。

山口 難聴地域の実態調査の計画は。

総務課長 もう一度見極めてみたい。

山口 防災行政無線は、Jアラートとも連動していて、重要度が増しているので善後策を検討すべきではないか。

総務課長 もう一度検討する時期ではないかと思う。

企業誘致の見直しは

山口 久間工業団地への企業誘致の今後の見通しはどうか。

市長 雇用確保は重要な施策であるし、この団地は最優先の候補地であるので今後も誘致活動に取り組んでいきたい。

教育行政の問題は

山口 小・中学校教員の勤務実態はどうか。

教育長 1か月平均の勤務時間外労働は、小学校が29・6時間。中学校が70・3時間（過労死ラインは80時間）で、部活動の指導時間が影響している。法律改正で、学校職員でない指導員が顧問

になることができるので、今後、他市町の動向を見ながら対応したい。

山口 部活動は、小学校は学習指導要領にはないが、中学校は教育活動であるとなっているが。

教育長 小学校はないが、中学校は教育課程の延長である。

山口 学校の管理職は、教員の残業時間を把握しているか。

教育長 管理は十分している。

山口 労働基準法の適用があるので、しっかり管理してもらいたい。

教育長 十分認識している。

山口 子どもたちのためにという先生方の善意が長時間労働につながっているのではないのか。

教育長 先生方は真面目で子どもの要求につきあってもらっているが、働き方を言えば、自身の意識改革が必要ではないかと思っています。

伝 建地区にトイレ設置を

芦塚典子 議員

答 これからの課題だ



芦塚 伝建地区にトイレ建設の計画はあるか。

市長 トイレの設置という要望は受けているが、場所はこれからの課題だ。

水防・土砂災害対策は

芦塚 塩田川沿いの布手地区の現在の災害避難

場所は床上浸水の経緯があり、避難道路の拡幅も必要である。地区住民との話し合いが必要ではないか。

市長 話し合いをしていきたい。

芦塚 嬉野市洪水ハザードマップでは、馬場下地区の避難場所5カ所が浸水想定区域にある。浸水想定区域以外に指定避難場所ができないか。

市長 国と県の洪水浸水想定区域指定完了後、ハザードマップの作製を予定している。

農業イノベーションは

芦塚 農業後継者の海外研修はあるか。

市長 うれしの茶で取り組みをして、生産者等が海外視察をしている。

芦塚 県外からの若者の就農コースなど人材育成事業はあるか。

市長 市内の農業後継者が、JAの協力で県のトレーニングファームでキュウリの栽培研修をしている。

芦塚 佐賀県有機農業推進計画が策定され、県

嬉野市地域防災計画 見直しの考えは

森田明彦 議員

答 もう一回見直して
対応したい



森田 9月1日防災の日特集で、県内には5つの活断層があり、その中で佐賀平野北縁断層帯が最大M7・5、もう一つが日向峠―小笠木峠断層帯で最大M7・2と、熊本大地震を超える地震も想定されると地元新聞にも掲載された。この事も含め、あらためて所見を

問う。

市長 嬉野市近郊20キロ近くにも断層があり、私どもの災害対策と避難の仕組みづくりなど、もう一回見直して対応する事も必要である。また、市民の方へも災害は起きることを前提として、知識を持つよう協力をお願いしていく。

森田 塩田地区の方は大雨のたびに心配されている。このような、浸水被害が想定される地域の避難対策はどうか。

市長 記憶を風化させないことも大事であり、市としても、再度、塩田川の安全対策と避難対策を作り上げていきたい。

観光対策どう取り組む

森田 多言語で酒蔵案内をするスマホアプリ

市長 「サケベル」の認識は。外国人観光客向けに、各酒蔵の歴史や酒の種類などの情報を提供するインバウンド対応に有効なツールだと考える。

森田 政府の訪日プロ



▲緊急時に備えての防災訓練

モーション事業では、今までのアジアに加えて、今後増加が見込まれる欧米や豪州を対象市場にする計画だ。嬉野市として、今後、欧米や豪州向けの対策は考えているか。

うれしの温泉観光課長 韓国、台湾、中国が主流であったが、欧米、豪州についても今後の課題として研究していく。

塩田川遊歩道および河川対策は

森田 市民や観光客の方が散策される遊歩道のゴミと、河川の雑草の除去対策を考えられないか。

市長 塩田川遊歩道は県の所有で、管理協定を結んでいる。今後ゴミの撤去は市で行い、河川内の雑草除去や伐採、しゅんせつ等については、県の関係機関に働きかけていく。



▲整備されている浜伝建地区のトイレ

の有機農業塾が開催されているが、参加者は。

市長 お茶農業者が参加し研究されている。

芦塚 減農薬栽培などの特定栽培はあるか。

産業建設部長 米とお茶が789アールある。

所有者の所在不明 土地・空き家はあるか

芦塚 所有者不明土地・空き家等の管理は。

市長 所有者の所在不明土地は9件、空き家

482軒のうち所有者が特定できないものは14軒。

芦塚 固定資産税の徴収はできているか。

税務収納課長 所有者不明の物件は課税保留となっている。

芦塚 死亡届の時に、土地、農地、森林所有者

である場合、相続手続きを説明し、固定資産係や農業委員会などの各課の連携で所有者不明土地・空き家等を減らす施策が必要ではないか。

市長 勉強していく。

源泉集中管理の完了 どうする

山下芳郎 議員

答 モニタリングシステム
までする



市長 どちらの表現でもいいが、事業名が源泉集中管理であり、その一環で行っている。

山下 目的からずれているので、どちらの表現でもいいとは思わない。

このシステム導入に所
有者の理解はどうか。

市長 ほぼ理解いただいている。

山下 源泉を所有して
いない旅館等への説明を
前回質問したが、その後
どう説明したか。

うれしの温泉観光課長 まだ
説明していない。旅館組
合を通じて説明する。

子どもセンター計画は

山下 建設中の市民セ
ンターに子どもセンター
併設を提案したが、計画
に入っていない。どうす
るのか。

市長 整備検討委員会
に聞いて進めていきたい。

山下 想定場所は。
市長 想定場所は今の
ところはない。委員会の
意見を聞いてまとめる。

新幹線駅構内に温泉を

山下 合併時の市民へ
の約束であった源泉集中
管理の完了はどうする。
市長 今、進めている
モニタリングシステムま
でする。
山下 このシステムは
温泉の状況把握で、温泉
を保護する目的でない。
呼称を源泉集中監視へ
変えるべきではないか。



▲利用が多いみゆき公園球技場

市

答 内の運動施設を市民
優先にはできないか
川内聖二議員



川内 運動施設を利用
するには、2カ月前から

答 検討する必要がある

予約ができるが、市民以
外の方が週末の空き日を
全部抑えてしまい市民が
利用できないと聞く。こ
のような状況を把握して
いるか。

財政課長 そのような
話は聞いている。
川内 では、対策を考

えているか。

財政課長 指定管理者
と協議し検討をしなければ
とは思っている。

川内 市民優先となれ
ばどのような考えを持つ
ているか。

財政課長 現状2カ月
前からの予約制度を、市
外利用者のみ1カ月前か
らと検討をしたい。

川内 市民以外の利用
者は、高速道路を使って
でも、使用料が他よりも
安いので利用すると聞く
が。

財政課長 市民以外の
使用料は、平成31年の消
費税の改定に合わせて検
討をしたい。

川内 市民ファースト
での対応を今後は望む。
市長 難しい問題で慎
重に検討をしていきたく
い。

塩田川の河川改修は

川内 駅周辺の塩田川
の今後の計画を伺う。

市長 河川内の遊歩道
の整備を要望している。

川内 既設の護岸の補
強も重ね合わせ、遊歩道

を市街地までできない
か。

建設・新幹線課長 今後
も要望をしていきたい。

川内 旅館街を流れる
河川内の堆積土の改修
は。

建設・新幹線課長 県は
景観より通水を第一に考
え現状は通水に余裕があ
るため、改修はできない
という。

川内 河川も観光のま
ちの一部であり、今後、
強く要望を望む。

市長 景観だけでなく
防災も含め、私からも再
度要望をする。

移住者対策は

川内 東京の「ふるさ
と回帰支援センター」の
相談者の7割は若者であ
り田舎で働きたいとい
うが、センターの会員にな
らない理由を問う。

企画政策課長 現状、
センターの佐賀県デスク
と連携して頑張ってい
る。

市長 これからは、他
も勉強し効果が上がるよ
う努力をしたい。



▲整備された湯河原温泉の源泉集中管理

山 新幹線嬉野温泉駅の名称であり駅構内に温泉の利用ができないか。

市長 温泉を引き込むか、ボーリングを検討する。

乳がん検診に若年齢層も

山 乳がん検診は国の制度で40歳以上となっているが、市独自に若い世代の受診が希望者だけでもできないか。

市長 検診した結果まで責任を持つ体制が必要か。

要。造影の精度が40歳以上ということであり、今後、医療技術の進歩の中で検討したい。

医療センター跡地活用は

山 医療センターの跡地の活用計画は。

企画政策課長 業者に調査を委託している。

山 市として考え方の骨子は提示しているか。

企画政策課長 まちづくりの方向性に合うよう考えていきたい。

イ ノシシが減少しない原因は

辻 浩一 議員

答 山里の農作物が餌となっている



辻 出産頭数が多いのは養豚場の豚と交配したイノシシがいるからという話は聞いたことはないか。

農林課長 イノブタ系が多いから出産頭数が多いとは聞いたことがありません。
辻 専門家の意見では、三代下れば豚の形質

はなくなり、現在の養豚経営の豚舎等考えれば交雑することは考えにくいとされている。耕作放棄地の農作物や自家菜園の作物がエネルギー源になっていることが要因の一つであり、管理が重要ではないか。

農業委員会事務局長 農地

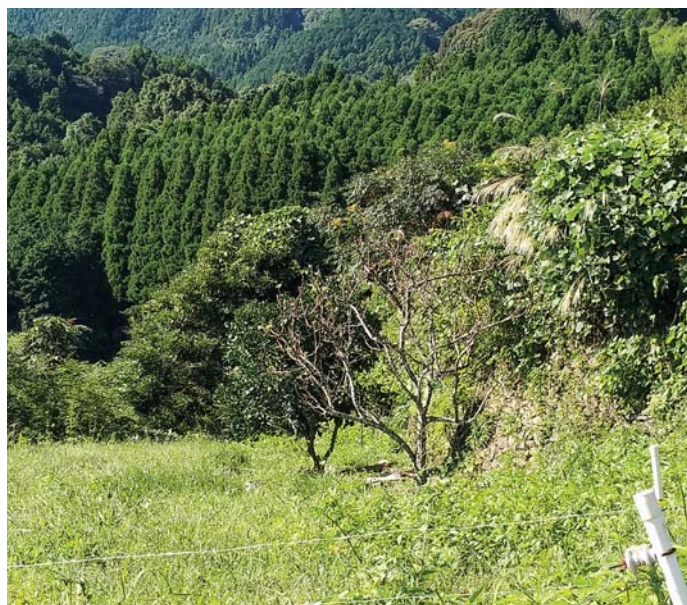
パトロールで果樹等の作物の管理の指導はできていない。今後、担い手を斡旋し耕作放棄地を減らすことで、イノシシの生息域や餌場を減少させることにつながる。

辻 出荷作物の防御対策が進み、被害金額自体は減少しているが、自家菜園の対策の不備や農作物の廃棄物が餌となっている。個体数のコントロールを考えた場合、指導や啓蒙を進めて行くべきではないか。

農林課長 今後チラシ等配布していきたい。

辻 近隣自治体との連携はできているのか。

農林課長 鹿島・藤津との連携はできている。長崎県側との連携もできていたが、その協議体が



▲市内に広がっている耕作放棄地

解散となったので、現在存在していない。今後、話はしていきたい。

辻 もう一つの要因として、捕殺したイノシシを埋設処分しているが、埋設が浅かったり投棄した場合イノシシの餌となり、多産の大切なエネルギー源となっている。餌とならないような処理が必要ではないか。

市長 やむ得ず埋設処理している。今後広域組織の中で、深く研究する必要がある。

防災広場にドクターヘリ発着場を

辻 災害復旧の第一歩はがれき処理が大切である。防災広場の今後の展開はどうする。

市長 コミュニティ単位で1カ所できればと考えている。

辻 防災広場の設置基準にドクターヘリが離発着できる環境を加えるべきではないか。
市長 そこまで考えていければと思う。



▲人口減少問題を取り上げた冊子

人

答

人口減少によるまちづくりの進め方はコンパクトなまちづくりを推進していく

山口忠孝議員



山口 コンパクトシティ計画や立地適正化計

画とは、どのような内容となっているか。

建設・新幹線課長 どちら

とも同じような計画で、都市計画区域内では居住誘導区域と都市機能区域（公共施設等）を設けてコンパクトにまとめようというものである。都市

計画区域外は、小さな拠点づくりとして交通ネットワークでつないでいくというものである。

山口 この事業は簡単に進まないのではないか。

建設・新幹線課長 5年

や10年ではなく、長い時間をかけて嬉野のまちのあり方を考えていく計画と考えている。

山口 公共施設等総合

管理計画はこれからのように進めていくのか。

財政課長 人口減少を

見据えた公共施設のあり方を検討していくものであり、今のところ体育館と市民センターを計画している。

山口 佐世保市を中心

とした連携中枢都市圏構想に参加することなどがどのような内容なのか。

企画政策課長 佐世保

市から誘いがあり、長崎県の周辺自治体と伊万里市や武雄市、有田町と本市で様々な分野を連携してやっていくというものである。10月に参加の意思表示をして、一つでも連携できるものがあれば

ばやっていくと考えている。

障がい者雇用は適切か

山口 市職員の障がい

者の雇用状況はどうなっているのか。また、非常勤や臨時職員はどうか。

総務課長 3名を雇用

しており、雇用率は1・65%で法定雇用率の2・3%を下回っている。次年度に募集をかけたい。非常勤や臨時職員での雇用は今のところないが、人にやさしいまちづくりを目指す本市として、今後検討していきたい。

ボランティアによる河川清掃は

山口 轟の滝の周辺作

業をどう感じたか。

うれしの温泉観光課長 非常

に有効であった。

山口 地域コミュニティ

等に依頼できないか。

うれしの温泉観光課長 お願

いできるところがあれば、今後検討していきたい。

うれしの茶交流館運営とオープニングは

宮崎良平 議員

う

答 民間と協力しながらやっていく



宮崎 現在建設中のうれしの茶交流館の進捗状況はどうか。

市長 年内には工事終了予定。外構工事などを翌年2月までとし、年度内にはすべての工事を完了する予定となっている。

宮崎 運営については、当然入館料だけではラン

ニングコストも補えないと思うが、対策はあるか。

うれしの茶振興課長 入館

料だけでは赤字になる見込みであり、茶摘みや手もみ体験、淹れ方教室や喫茶・売店の売り上げを考慮している。

宮崎 このところ民

間の方々を中心にお茶の提供、ブランドイングなどメディアなどで大きく注目を集めている。賛否両論あるが時代のニーズをしっかりと掴んだ画期的な取り組みであると思う。どう考えるか。

うれしの茶振興課長 協力

体制ができれば、お願いしたいと考えている。

宮崎 明治維新と嬉野

茶においては深い関りがある。オープニングイベントを、県が主体でおこなっている明治維新150周年イベントと絡めていく考えはないか。

市長 リバティで嬉野

茶と明治維新をテーマにしたシンポジウムを行う予定だが、市独自のイベントにも県に協力をお願いしたい。

中山間地の荒廃を 防げ

大島恒典 議員

答 直接支払制度継続に向け
推進していく



大島 中山間地域等直接支払制度は現在4期目で活動中である。担い手の減少で継続が困難な地域もある。今後の対策は。

市長 制度の維持が困難な地区も出てきているが、国土保全や地域の環境保全のためには必要な事業であり、国に対して

は継続をお願いしている。

大島 4期目から制度の減免措置や要件の緩和などが行われている。引き続き事業を継続してもらうために地区に対して説明に努めるべきである。

農林課長 要件の緩和や追加された制度について説明をしながら、5期目に向けての取り組みを推進していきたい。

大島 中山間地における鳥獣害対策については最終処分の課題がある。

現在、長崎県の業者が飼料や肥料化に向けた取り組みを行っている。研究してはどうか。

市長 再利用できれば非常に良いと考える。情報を仕入れながら将来に備えたい。

移住者支援対策は

大島 移住支援に対する今後の計画は。

市長 移住のあつせん組織は多数ある。ネットワークを広げながら努力していく。



▲手入れが行き届いている中山間地域（吉田地区）

大島 移住支援を行う「ふるさと回帰支援センター」へ、市としても会員登録を行い積極的にサポートしてもらう環境を作るべきではないか。

企画政策課長 登録についてはほかの自治体の移住実績などを見ながら検討したい。

湯けむり広場の考えは

大島 温泉情緒の創出

ということを整備が行われたが、市民から賛否を含め、いろいろな意見を

聞く。今後の施設に対するの考え方はどうか。

市長 経費節減も十分に考慮して、観光誘客に寄与するよう有効活用していきたい。

うれしの温泉観光課長 施設に関してはいろいろな意見が聞かれますが、その後の活用方法についても計画していきたい。

大島 施設の更新時には検討をお願いしていく。

うれしの温泉観光課長 検討したい。

スポーツ誘致と 施設拡充対策は

宮崎 スポーツ誘致においては、着実に実績も上がり成功している。反面、市民の利用ができないなどの、ハード面において限界がきている。対策はあるか。

文化・スポーツ振興課長 スポーツ行政の中で未来を見据えた現実的なスポーツ推進政策策定に向けて研究している。

宮崎 平成32年東京オ

リンピック・パラリンピックのホストタウンとして、また平成35年佐賀国体開催地の中で施設改修にかかわる補助制度の活用は検討しているか。

文化・スポーツ振興課長 市の財政負担もある。財政課などと協議し、研究していく。

その他

- ・市役所の組織運営と庁舎の今後について
- ・人口減少問題について



▲着々と工事が進むうれしの茶交流館

町田・火の口交差点の道路改良を急げ

西村信夫 議員

五

答 相続関係を整理中



建設・新幹線課長 佐賀県に改良区間約900メートルについて現道拡幅で要望書を提出している。残り数名の地権者同意が必要である。

学校現場での長時間労働の実態は

西村 市内小中学校教職員の時間外勤務実態は。

教育長 教諭1カ月当たりの時間外労働時間は平均で小学校29・6時間、中学校で70・3時間である。

西村 労働基準法で労働時間が6時間を超えた場合に45分の休憩時間を与えなければならぬとなっている。学校現場の実態は。

教育長 法的にみると非常に難しく厳しい部分がある。

市職員・学校職員の安全配慮義務について

西村 本市の適正労働配慮義務の対応はどうか。
総務課長 過剰な労働

西村 五町田・火の口交差点の改良については、緯と今後の見直しは。建設・新幹線課長 早い交差点の改良を望んでいるが、権利関係を整理されている状況である。



▲市道新設が望まれる轟地区周辺

轟

地区に市道の 新設を

答

検討の余地は十分あると思う

田中政司 議員



田中 轟小学校から轟橋までの轟地区の水田地帯においては、以前に区画整理を計画されたが実現できていない。土地の有効利用等を図っていく上において、轟小学校の

入口から轟橋までの河川側に市道の新設はできないか。

市長 諸般の事情で区画整理ができなかったことは残念に思っている。

今後、区画整理は難しいと思うが、道路をつくることによって地域全体の農業が活性化するということがあれば検討の余地は十分あると思っている。

ドクターヘリのランデブーポイントを増やせ

田中 現在市内には13カ所のランデブーポイントがあるが、十分か。

市長 今のところ十分設置できている。理由として嬉野医療センターが近く、陸送が非常に多い。

田中 医療センターから離れている陣野地区などにおいては、電線や防霜ファンなどにより降りられる場所がないと聞く。乗用摘採機での事故など不測の事態に備え整備すべきと考えるが。
市長 消防本部あたり

の意見を聞かせていただいて少し勉強させていただきたい。

農業集落排水の真空柵ユニット個人負担は

田中 公共下水・市営浄化槽・農業集落排水の使用料の統一化はいつ頃か。

環境下水道課長 担当課の目標としては、平成31年4月と考えている。
田中 料金統一の根本的な考え方は。

市長 公共料金の一部であり、市民の負担は同じであった方が良いというのが大前提である。

田中 農業集落排水の区域内において、一部の地域では真空柵ユニットを利用しており、新規に加入する場合は個人負担である。他の自治体では補助制度もあるが。

環境下水道課長 補助がある自治体もある。担当課としては新たに宅地化された場合、真空柵ユニットが高額なため、市営浄化槽で取り組めないか検討中である。



▲早急に改良したい火の口交差点

が原因となって健康を害することがないよう、毎日朝礼で職員の健康状態を把握し業務を行っている。

教育長 教職員の過労死などを未然に防止するため、労働安全衛生法に基づき教職員の健康管理に努力している。

**平成29年度
コメ概算金の状況は**

西村 佐賀県産コメ概算金（仮渡金）と生産者

への支払い状況は。

農林課長 概算金は9月中旬以降に全農県本部で決定され、生産者への支払いは出荷された後、例年12月上旬頃に支払われている。

西村 コメの直接支払交付金（10アール当たり7500円）が廃止になるが本市全体の減少額はどうなるか。

市長 昨年の実績から全体で約4500万円の減少になる見込みである。

市内介護施設の入所者状況はどうか

田中平一郎 議員

答 現在満床状態になっている



田中 市内の介護施設数や、その定員に対する入所者の状況はどうなっているのか。

市長 市内の介護施設で特別養護老人ホームは3施設。特別養護老人ホーム済昭園が50床、特別養護老人ホーム清涼館が50床、特別養護老人ホームうれしの50床と

なっており、現在満床状態となっている。

田中 各施設に入所するには、どのような条件が必要なのか。

市長 特別養護老人ホームは新規入所の場合、要介護認定で原則要介護3以上と認定された方が対象である。要介護1・2の方は、やむを得ない事情がある場合に限り入所している。

田中 入所検討委員会はそのようにして行われているのか。

市長 入所指針に基づいて、主たる介護者等の状況、また、居宅サービス利用状況などについて点数化して得点の高かった方から、入所検討委員会において入所決定されている。

田中 入所検討委員会には誰が行うのか。

市長 入所検討委員会、施設長、生活相談員、介護職員、介護支援専門員の他に、施設外の第三者を任命するようになっている。

田中 やむを得ない事情がある場合とは、どんな



▲満床状態の市内介護施設

な事情なのか。

福祉課長 要介護1・2の方であっても、やむを得ない事情、例えば認知症がひどくて、どうしても家族で見ることができないとか、知的障害や精神障害等で日常生活に支障をきたすような、そういった困難が見られる場合等である。

田中 市内にまだ多くの入所待ちの方がおられる中で、本市独自に入所判定の条件緩和はできないのか。

市長 これは県の入所指針に基づいて各施設の入所指針ができていて、独自の条件緩和はできないので、ご理解をお願いしたい。

田中 宅老所の場合はどうすればいいのか。

福祉課長 宅老所については、今、県がすすめているが、実際、泊りをして居宅の事業所で介護保険の適用は受けられない。個人で契約をさせていただくことになる。

みんなで取り組む、いのちを支える自殺対策

自殺予防週間 9/10～9/16

気づきの輪、もっと広げよう。

気づき 傾聴 つなぎ 見守り

こころの健康相談統一ダイヤル 24時間対応
よりぞいホットライン

☎0570-064-556 ☎0120-279-338
☎0120-279-226

全国で相談窓口を開設しています。詳しくは内閣府自殺対策推進課HPをご覧ください。自殺対策 啓発 内閣府

▲自殺予防週間を告知するポスター

は約500万円も
の予算をつけて自
殺対策に取り組ん
でいる。一歩進ん
だ対策をやるため
には予算の増額計
上も必要では。

健康づくり課長

現在、佐賀県地域
自殺対策事業とい
う形で県の補助金
を活用している
が、さらなる予算
獲得に努めたい。

梶原 本年7月

に自殺総合対策大
綱が制定されたが、それ
に沿った取り組みをすべ
きでは。

健康づくり課長

主に
相談支援従事者の研修、
心の健康相談、心の訪問
相談、こころの体温計な
どを行っている。今後と
も自殺対策については充
実を図っていく。

梶原 自殺のサインに

気づいて相談に連れてい
く、相談に乗る、身近な
人がそういう役割を果た
す、いわゆるゲートキー
パー養成講座の開催を要
請していたが。

健康づくり課長

研修

会は毎年開催している。
28年度は2回開催し97名
が参加した。

梶原 内閣府の統計に

よると、子供の自殺が1
番多いのは夏休み明けの
9月1日とのことだが、
教育現場での取り組み
は。

教育長 市内の学校で

は命を大切にすることに
ついては、自殺の予防も
含めた指導をしている。

特に、人権教育の観点
からの指導、あるいは夏
休みに行う平和教育の指
導などあらゆる機会を通
じ取り組んでいる。ま
た、市独自で作成した副
読本「生きる力」も活用
している。

梶原 昨年12月教育機

会確保法が施行され、い
じめ等で悩む児童・生徒
の休養の必要性、「休む
ことも必要である」と明
記されたが、学校に行か
ないという選択肢もある
と理解しているのか。
教育長 私もそう理解
している。法案を利用し
ながら取り組んでいく。

の滝公園駐車場の整備はできないか

増田朝子 議員

答 事業化に向けて努力する



増田 公園管理は誰が

行っているか。

市長 一般社団法人嬉

野市体育協会に管理を委
託している。

増田 担当課はどこ

か。

財政課長 指定管理の

担当は財政課。

増田 除草作業の回数

は。

建設・新幹線課長 委託
前は樹木の管理を年2回
程度シルバーセンターに
お願いしていた。

増田 多くの観光客に
来てもらっているが、管
理が行き届いてないよう
に感じるがどうか。

財政課長 再度確認を

して協議をしていきたく
い。

増田 また、大型バス
も多く来ているが、駐車
場が狭く運転手の方が苦
労されている。駐車場の
拡張と整備ができない
か。

市長 以前も指摘いた
だいているので、事業化
に向けてしていきたいと
思う。

**うれしの茶交流館に
ついでの考え方は**

増田 完成後の集客に
ついてどのように考える
か。

市長 旅行者、旅館
組合、観光協会等とタイ
アップして交流館のPR
を行う。

増田 ハウスのお茶畑
の完成予定は。

自

答

自殺総合対策大綱に
沿った取り組みを
充実を図る

梶原睦也 議員



梶原 全国での交通事

故による死者数約7千人
に対し、自殺による死者

数は約5倍の2万1千人
となっている。昨年4月
に市町村自殺対策計画の
策定が義務づけられた
が。

健康づくり課長

第3
次嬉野市健康総合計画の
中に自殺対策計画も盛り
込む予定だ。

梶原 唐津市において

鍋 島直澄公没後350年 記念行事は

生田健児 議員

答 記念の年に何ができるか 検討したい



対して要望等は出ているのか。

市長 具体的にはまだ出ていない。

生田 肥前吉田焼の歴史を振り返るにもいい機会である。歴史的な古陶磁を常設展示できるようなスペースは考えられないか。

教育長 絶好の機会だと思っているので、何かできないかということを考えている。今後、様子を見ながら、できる範囲で協力していきたい。

行政サービスの改善は

生田 高齢化人口が増加する中、車を運転されない高齢者の方が役所まで行くのは大変苦労する。事前にゆっくり料金等を気にせず相談できるようフリーダイヤル相談窓口を設置するべきではないか。

市長 技術的には今の状況でも可能。ただ担当の職員を一人おかねばならない。研究していきたい。

生田 吉田出張所の窓



▲毎年賑わっている吉田おやまん陶器まつり

口業務が16時まで。もう少し延長はできないのか。

市長 できるだけ受付時間は長くということにしている。

生田 吉田出張所、吉田公民館には窓口業務の職員、公民館長、コミュニティ事務局長の3名がおられるが、窓口業務をコミュニティに委託は考えられないか。

市民課長 コミュニティは全く別の組織と考えて

いる。情報公開の絡みからしても、委託については二の足を踏む。

アニメ漫画とのコラボ イベントの働きかけは

生田 佐賀県が行っている若い世代の誘客が見込まれるこういったイベントに関われるよう働きかけはしているのか。

市長 これからも機会があれば提携していただくようお願いをしている。

うれしの茶振興課長 今年度の完成予定。

増田 嬉茶楽館との連携はどのようにするのか。

うれしの茶振興課長 指定管理の農協と協議を行っている。

増田 嬉茶楽館で行われている体験はどうするのか。

うれしの茶振興課長 来年4月以降、交流館に引き継ぐ。

増田 嬉茶楽館の現場

の職員との打ち合わせをするべきと思うが。

うれしの茶振興課長 早急に進めていきたい。

増田 交流館でお茶の市民向けの講座を開催してほしいが。

うれしの茶振興課長 取り入れていきたい。

その他
・横竹ダムについて
・ホームページ掲載について



▲整備したい轟の滝公園駐車場

読

書月間の取り組みは

答

いろいろと予定している



山口 要議員

を訪ねる文学散歩。それと大人向けのお話会の取り組みを予定している。

山口 この条例についての市長の考え方は。

市長 非常に大切な条例だと思っているので、

次年度の予算には必ずこれに関連する予算を組むべきだと考えている。

災害対応どうする

山口 災害時の避難所に指定されている学校で断水でも使えるトイレ

や、停電時の電力確保についての状況はどうか

教育部長 上水道を利用しているもので、断水時に使用できるトイレは備えてない。また、非常用

発電等も設置をしてない。

山口 この状況では避難所としての役割は果たせない。今後について文科省の補助金等を調査し、見直しや検討をせよ。

教育部長 検討したい。

山口 災害受援計画（災害時に他の自治体や機関からの応援受け入れ

の計画）の作成はどうか。
総務課長 作成する必要もあると思うが、今の段階では作成していない。
山口 今後どうするか。
総務課長 市防災計画の規定にもあるので、国のガイドライン等を参考にしながら作成したい。

相続放棄空き家対策の考え方は

山口 本市における9件の所有者不明の空き家に対する考え方はどうか。

総務課長 9件は老朽空き家ではないので、そのうなる前に手段を講じる。

山口 解決策としてどのような方法があるか。

税務収納課長 裁判所へ相続財産管理人を選任

し不動産を換価するという制度がある。
山口 この制度を含め、持ち主不明の空き家に対して税条例の見直し

が必要になると考えるが。
税務収納課長 全体を見直していくためには必要と考えるが、今のところ見直しは考えていない。

忙しい9月議会

日付	曜	議会関連	日程
9月1日	金	本会議 委員会	開会、提案理由の説明、委員長報告ほか 議案の詳細説明
2日	土	休会	
3日	日	休会	
4日	月	委員会	常任委員会
5日	火	委員会	常任委員会
6日	水	休会	
7日	木	休会	
8日	金	本会議	一般質問（5人）
9日	土	休会	
10日	日	休会	
11日	月	本会議	一般質問（5人）
12日	火	本会議	一般質問（6人）
13日	水	休会	
14日	木	本会議	議案質疑（補正）
15日	金	本会議	議案質疑（補正）
16日	土	休会	
17日	日	休会	
18日	月	休会	祝日
19日	火	本会議	討論・採決（補正）
20日	水	休会	
21日	木	本会議	議案質疑（決算）
22日	金	本会議	議案質疑（決算）
23日	土	休会	
24日	日	休会	
25日	月	委員会	決算特別委員会
26日	火	委員会	決算特別委員会
27日	水	委員会	決算特別委員会
28日	木	委員会	決算特別委員会（取りまとめ）
29日	金	本会議	追加議案上程
30日	土	休会	
10月1日	日	休会	
2日	月	休会	
3日	火	本会議	討論・採決、閉会

このあと広報編集委員会

日付	曜	議会関連
3	火	議会閉会后、初日編集作業
4	水	編集
5	木	入稿
10	火	小林市視察対応
12	木	
13	金	初校受け・提出
18	水	2校受け・提出
19	木	
20	金	最終校チェック
27	金	納品→棚入れ
30	月	配送



▲大いに利用したい図書館（塩田図書館）



▲おもてなし条例を研修する総務企画委員

おもてなし観光振興 条例で調査

総務企画
常任委員会

全国的に「おもてなし条例」が制定されている中、佐賀県および県内自治体では制定をされていない。そこで今回、先達の滋賀県甲賀市と三重県尾鷲市に条例について調査を行った。

委員会の意見

甲賀市では、条例を制定することにより執行部より予算措置を講じる状況が生まれる等、市内産業の活性化の一助になっている。また、尾鷲市は議員提案であることで、お客様を気持ちよく迎えるために除草作業等のボランティア活動に参加し意識向上につなげている。

現在、国は観光産業の振興を掲げDMOの推進を行っている。そのためにも当市も観光産業が主産業であり推進が必要である。おもてなし条例を制定し市民意識の醸成や様々な施策の推進を図るためのアシストになるのではないかと考え、今後も調査研究を継続すべきと考える。

高齢者の居場所づくり 事業を研修

文教福祉
常任委員会



▲高松市で説明を受ける文教福祉委員

高齢社会を見据えた地域包括ケアの体制づくりが急がれる中、高齢者が住み慣れた地域で暮らせる環境づくりが重要になる。そこで、高齢者の居場所づくりに取り組まれている香川県高松市に調査を行った。

委員会の意見

高松市では、高齢者の居場所づくり事業に取り組まれ、即時的効果は望めないが、自主的な活動を補助金で支援すること

で住民主体の健康づくりの意識付けにつながり、地域包括ケアの一環として位置づけされている。

本市においても、介護予防の重要性は認識されており、介護予防教室等様々な施策が展開されているが、老人会の加入者の減少や文化サークル活動の停滞などが取り沙汰されている。今後、行政からの指導も大切だが、住民自ら自主的に取り組んでいける施策も必要ではないかと考える。

中山間地域等直接 支払制度で視察

産業建設
常任委員会

「中山間地域等直接支払制度」は、地域構成員の高齢化や人口減少により活動が厳しくなっている。このような中、他集落と連携を図り活動を行っている八代市内野地区の現状の調査を行った。

委員会の意見

内野地区は、平成25年度より周辺の2集落と協定し活動を広げ、超急傾斜加算にも取り組まれている。平成27年度以降、国は各種の加算金や返還減免措置を行い取り組みやすくなっているが、5年間継続できるかと心配をされ協定参加にはちゅうちょされる声も聞く。中山間地を取り巻く環境は大変厳しいものがあるが、活動をやめてしまうと農地や地域の荒廃が加速度的

に進むと考えられる。今後、協定数が減らないうち、国の取り組みなど周知を徹底する必要があり、集落間の連携や担い手の確保を推進していく必要がある。



▲八代市で調査する産業建設委員

市議会議員候補者募集

市議会議員へ立候補してみませんか

今、嬉野市では少子高齢化が一段と加速していく中で、福祉問題や産業振興など幾多の問題が山積しています。

これらの問題解決と更なる活性化のためには、市民の皆様方の新しい提案が必要です。

未来の嬉野市づくりにもマンを馳せ、力をお貸しください。

我々と思わぬ方は議会に新しい風を起こすべく立候補してみませんか。



▲嬉野市議会議場

多いか少ないか議員数

次回から2名減の16名に

嬉野市議会議員の定数の見直しは平成27年12月議会で議員提案により、2名減の16名に決定しています。

■立候補届出説明会

平成29年11月13日(月) 14時から

嬉野市中央公民館(塩田)

■告示日

平成30年1月14日(日)

■投票日

平成30年1月21日(日)

県内10市の議員定数の状況

平成28年12月31日現在

市	人口	議員定数
佐賀市	234,758	36
唐津市	125,001	32
鹿島市	30,205	16
伊万里市	56,034	24
鳥栖市	72,832	22
武雄市	49,665	24
多久市	19,937	16
小城市	45,641	22
嬉野市	27,017	18
神崎市	32,038	20

中学生の声

図書館で学んだこと

吉田中学校

平川 陽菜



9月の6日、7日に嬉野図書館で職場体験学習をしました。事前学習で、礼儀や言葉遣いなどを学習して準備していましたが、1日目はとても緊張しました。2日目は作業にも慣れて自分から仕事を見つけて行動することができました。この職場体験学習を通して学んだことが二つあります。

一つ目は、適切な声量で挨拶したり話したりすることです。図書館では大きな声を出してはいけないので、元気よく挨拶することはできません。静かな声でも相手が聞きとりやすいように挨拶したり話したりすることを心がけました。その心がけは学校で発表するときにも生かしたいです。

二つ目は、仕事は最後まで気を抜かずに行うことです。2日目に本を本棚に戻す作業をしぱらくしていたら、だんだん疲れてきて少し気を抜いてしまいました。しかし、職場体験学習といえども仕事をしているのだと気持ちを切り替え、気を引き締め直して頑張りました。

普段の学校生活だけでは学べなかったことを今回学ぶことができました。職場体験学習で学んだことを今後の生活に生かしたいです。また、嬉野図書館には、おもしろそうな本がたくさんあったので、みんなに教えていきたいと思いました。

コラム

「長靴に防寒着、しっかり着ているね。それでは農場までの道すがら話すからね」関東平野の空つ風が吹くなかを歩きながら、有機農法を講義していただいた。御年80歳、全国からの塾生に有機農法を講義する人柄にほれ込んで頼んだ視察研修。前日は、潮来舟で利根川を渡った。船頭小唄を歌いながら、櫓をこぐ女船頭さんは83歳。民謡調の節回しに胸が熱くなった▼私の記憶に残る忘れがたい人々、ご高齢の方に教わった湧き上がるような勇氣と地道な生き方。政治談議に時を忘れて暗い夜道を帰ったこともしばしば。決して超えることはできないが如切如磋如琢如磨、学びを忘れず活かす道を歩みたい。(典子)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 山下芳郎 |
| 副委員長 | 山口忠孝 |
| 委員 | 山口要 |
| 〃 | 織田菊男 |
| 〃 | 芦塚典子 |
| 〃 | 森田明彦 |
| 〃 | 川内聖二 |
| 〃 | 生田健児 |